

## 平成30年度 農業科 (ハイテク農芸科)

教科	農業	科目	栽培技術	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等	「作物」「野菜」「果樹」「草花」 (いずれも実教出版)						

## 1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

作物、野菜、果樹、草花などの栽培や生産、利用に関する基礎的、共通的な知識、技術について、座学や実習を通して学習します。また、内容は「農業科学」が知識習得を重視するのに対して、この科目では実際の技術面を重視します。

## 2 学習の到達目標

- ・農業に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ・科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

## 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	園芸植物の栽培育成や安全な食糧、嗜好品としての農産物、草花や庭園樹木などによる住環境の美化などについて興味・関心を持ち、課題の探究に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧、嗜好品としての農産物、草花や庭園樹木などによる住環境の美化などに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧、嗜好品としての農産物生産、草花や庭園樹木などによる住環境の美化などに関する基礎的な技術を身に付け、園芸植物の育成と住環境の美化に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧、嗜好品としての農産物、草花や庭園樹木などによる住環境の美化などに関する基礎的な知識を身に付け、園芸植物の特性と栽培環境や住環境の美化や創造の重要性を理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録帳 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録帳 レポート、発表 定期考査の結果 自己・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録帳 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録帳 レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

